

## ■福岡/福岡市の実施報告

### 「金融経済教育公開授業 in 福岡（福岡市）（青葉小学校）」（11月27日開催）

福岡市立青葉小学校は開校45年目を迎える学校です。閑静な住宅街の中、近隣には青葉公園という大きな公園もあり、校名の通り豊かな緑にも囲まれたとても環境に恵まれた学校です。学校教育目標「よりよい生き方を目指して、共に高まる青葉っ子の育成」の達成にむけて、自ら学ぶ力をもった子どもの育成に力を入れています。

11月27日（木）に金融教育公開授業を開催し、6年生および特別支援学級を対象に公開授業と、あんびるえつこ氏による講演会を行いました。

#### ▼参加者内訳：

児童 65名、教員 40名、保護者 2名、教育委員会 2名、他校教員 9名、その他 2名  
合計 120名

### 1. 公開授業

#### (1) 「修学旅行で買い物名人になろう！」

修学旅行に向けて使えるお小遣いの上限をもとに、ハウステンボスやお土産店のホームページを活用しながら実際の価格や商品の情報を詳しく調べ、どのようにお金を使うかを計画しました。計画では、「自分のため」「家族のため」など、『お金を使う目的(=価値の変換)』を意識し、使い道を円グラフにまとめることで、自分の考えを可視化・共有することができました。修学旅行後には、実際にどのようにお金を使い、どのような価値を得たかを振り返ります。家族にお金を使う子や、自分のために使う子それぞれが自分の考えを表現し共有することで、お金は「価値を生み出す手段」であるということに気づき、計画的な消費の大切さや、使い方による満足感の違いについて考えることができました。



## (2) 「なのはなマネーマネジメント②」

昨年度の校外学習の経験からどのようなことにお金を使ったのかを振り返り、お金の使い方を「移動」「食べ物」「買い物」「体験」の4つに分類し、今年は何に重きを置いた校外学習にしたいかを考えました。2回目の校外学習では3000円の予算で、クラスごとに振り分けを考えておでかけプランを話し合い、実際に校外学習に出かけた時の満足度メーターや価値カードを作成しました。それらを基に各クラスでおでかけプランを紹介するプレゼンや動画を作成し、他のクラスと交流をしました。満足度メーター、価値カードの作成や自分たちとは異なるおでかけプランを聞く中で金銭が自分や相手の中でどのような価値に変換されたかに気づくことができました。



## 2. 研究発表

令和6年度より福岡県金融広報委員会からの金融教育研究校の委嘱を受け、研究主題を「よりよい生き方を目指してともに高まる子どもの育成～お金の使い方について考え、自分の暮らしにつなぐ学習活動の工夫を通して～」とし、金融教育の研究に取り組んできました。従来の教育計画の中に金融教育をどう組み込んでいくかを考えました。話し合い活動や体験活動を通して、児童が主体的に学びに向い、お金や経済について考え、生活に生かせる授業づくりに努めました。



### 3. プログラム

13：40～14：25 公開授業

- (1)「修学旅行で買い物名人になろう！」(6年生 総合的な学習の時間)
- (2)「なのはなマネーマネジメント②」(なのはな学級 生活単元学習)

14：40～14：50 開会行事

開会挨拶 福岡市立青葉小学校 校長 藤原 千恵美  
基調提案 研究主任 永松 亜依子

14：55～16：05 講演「子どもたちの生きる力と金融経済教育」

講師 あんびるえつこ 氏  
謝 辞 福岡市立青葉小学校 教頭 須藤 大介

16：05～16：15 閉会行事

閉会挨拶 福岡県金融広報委員会 事務局長 内田 清博

以上